



西幼だより

令和7年5月29日
新潟市立西幼稚園

【教育目標】
しなやかに
たくましく

ブログも見てね！



(西幼稚園 HP)



遊びは学び

園長 渡邊 舞

5月のある日、年長さんと年中さんは、透明な容器にいろいろな色の紙テープと水をまぜ、ジュース作りが始めました。最初2、3人で始めたそのジュースづくりの場には、いつしか一人、また一人と増えていきました。担任は、友達の作り方を取り入れたり、友達からヒントを得て自分なりに工夫したりする姿につながることを願い、テーブルの配置を考え、お互いの様子が見えるようにしました。「昨日の続きしようっと！」と次の日もそして次の日もこの遊びが続きました。



最初はいろいろな色を混ぜていた子どもたちでしたが、色が混ざるよりも単色の方がきれいになるということや、色の濃淡には水加減が関係しているということに気付く姿が見られました。自分なりに試行錯誤する中で得た気づき、そして、そばにいる友達を見て、感じて得た気づきだったようです。ちょうどそのころ、1階の年少さんたちは、偶然、紙でジュースを作っていました。2階の年長さんたちの保育室に行く機会があり、本物のようなジュースを目の当たりにしました。そのときの表情からは「ワクワク」が伝わってきました。年長さんたちの作る様子をしばらく見た後、年少さんも隣に座って、ジュースを作り始めていました。



私たち教職員は決して子どもたちの遊びを主導することはありません。子どもたちがさまざまな人、もの、ことに心を動かし「おもしろい！」と感じて遊びだすその瞬間を逃しません。そして、主体的に十分遊び込む過程を大切にします。遊び込む中で「もっと〇〇したい」と私たちが想像する以上に、さまざまなことを考えながら遊んでいます。考え、試し、友達と刺激し合ってさらに考えて遊ぶ。まさに主体的に人やもの、ことに向き合い、実体験を通して、多くのことを学んでいると言えます。ジュース作りの過程では、水をこぼしたり思うような色ができなかつたりするなどうまくいかないことも経験していますが途中で「もう、やめた！」という子はいません。心から「おもしろい」と感じ、同じ場にいる友達と刺激し合いながら遊ぶ中で「今度はこういうふうにやってみよう」と前のめりになって遊び続けている子どもたちです。遊びの中で自分の考えたことを試したり失敗したり、好奇心がさらに刺激されたりしながら、今日も、子どもたちの探究心や思考力が育まれています。



遊びは学び。「もっと〇〇したい！」と感じる毎日の主体的な遊びは、将来につながる大切な大切な学びの時間なのです。

*ここに出てくる「友達」は西幼稚園では、クラス、学年に関係なく、幼稚園のみんなのことです。